

1 令和元年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の動向

令和元年産の野菜（41品目）の作付面積は45万7,900haで、前年産に比べ6,200ha（1%）減少した。

収穫量は1,340万7,000t、出荷量は1,157万4,000tで、前年産に比べそれぞれ37万1,000t（3%）、37万7,000t（3%）増加した。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移

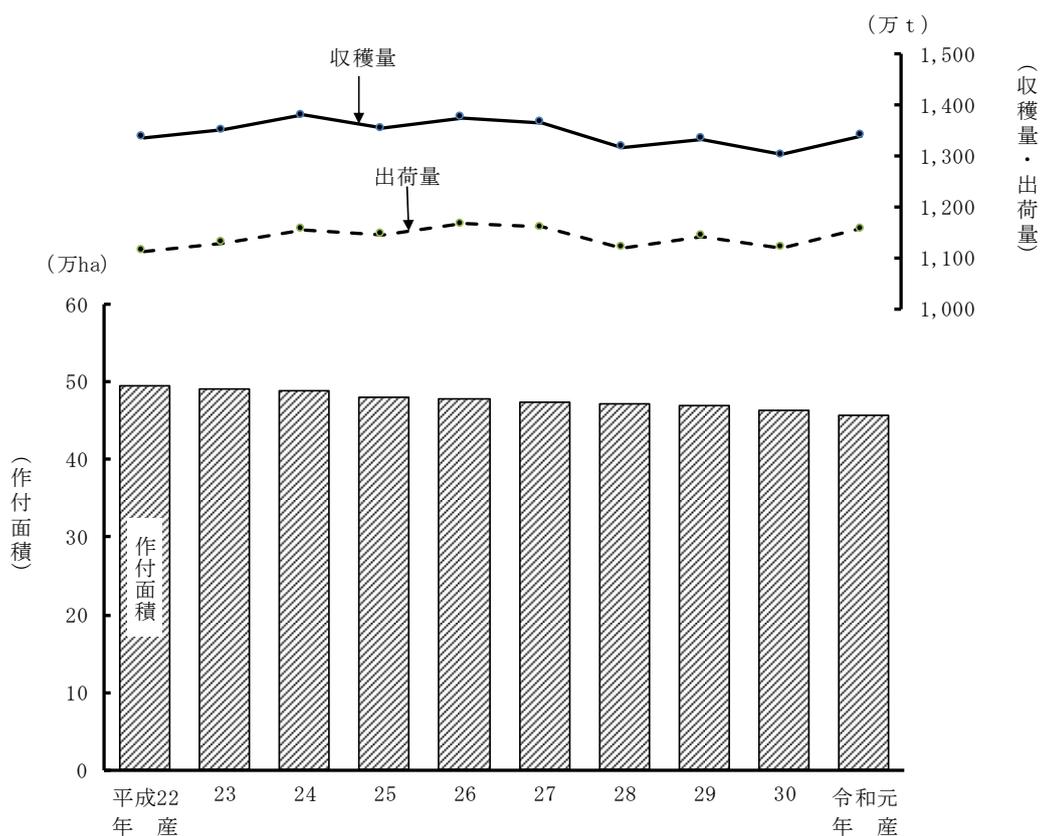


表1 令和元年産野菜の作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
計	457,900	...	13,407,000	11,574,000	99	nc	103	103	nc
根菜類	156,200	...	4,909,000	4,129,000	98	nc	103	104	nc
だいこん	30,900	4,210	1,300,000	1,073,000	98	100	98	99	98
かぶ	4,210	2,670	112,600	93,300	98	97	96	95	96
にんじん	17,000	3,500	594,900	533,800	99	105	104	104	105
ごぼう	7,540	1,810	136,800	119,400	98	103	101	102	98
れんこん	3,910	1,350	52,700	44,500	98	88	86	86	89
ばれいしょ (じゃがいも)	74,400	3,220	2,399,000	2,027,000	97	109	106	107	106
さといも	11,100	1,260	140,400	92,100	97	100	97	97	100
やまのいも	7,130	2,420	172,700	145,500	100	110	110	108	110
葉茎菜類	183,200	...	5,521,000	4,890,000	99	nc	103	104	nc
はくさい	16,700	5,240	874,800	726,500	98	100	98	99	102
こまつな	7,300	1,570	114,900	102,100	101	99	99	100	96
キャベツ	34,600	4,250	1,472,000	1,325,000	100	100	100	100	101
ちんげんさい	2,140	1,920	41,100	36,100	99	99	98	96	97
ほうれんそう	19,900	1,090	217,800	184,900	98	97	95	95	92
ふき	518	1,800	9,300	7,850	96	95	91	92	93
みつば	891	1,570	14,000	13,200	96	98	93	94	102
しゅんぎく	1,830	1,470	26,900	21,800	97	99	96	96	96
みずな	2,480	1,790	44,400	39,800	99	104	103	102	105
セルリー	552	5,690	31,400	30,000	96	105	101	102	103
アスパラガス	5,010	535	26,800	23,600	97	104	101	102	104
カリフラワー	1,230	1,740	21,400	18,300	103	106	109	110	102
ブロッコリー	16,000	1,060	169,500	153,700	104	106	110	111	106
レタス	21,200	2,730	578,100	545,600	98	101	99	99	101
ねぎ	22,400	2,080	465,300	382,500	100	103	103	103	100
にら	2,000	2,920	58,300	52,900	99	101	100	100	102
たまねぎ	25,900	5,150	1,334,000	1,211,000	99	117	115	116	112
んにく	2,510	829	20,800	15,000	102	101	103	104	95
果菜類	95,600	...	2,286,000	1,946,000	99	nc	102	103	nc
きゅうり	10,300	5,320	548,100	474,700	97	103	100	100	105
かぼちゃ	15,300	1,210	185,600	149,700	101	115	117	120	98
なす	8,650	3,490	301,700	239,500	96	104	100	101	105
トマト	11,600	6,210	720,600	653,800	98	101	100	99	102
ピーマン	3,200	4,550	145,700	129,500	99	104	104	104	104
スイートコーン	23,000	1,040	239,000	195,000	100	110	110	112	105
さやいんげん	5,190	738	38,300	25,800	97	105	102	104	106
さやえんどう	2,870	697	20,000	12,800	99	103	102	102	105
グリーンピース	731	860	6,290	5,000	96	110	106	107	112
そらまめ	1,790	788	14,100	9,970	99	98	97	99	96
えだまめ	13,000	508	66,100	50,500	102	102	104	104	97
香辛野菜									
しょうが	1,740	2,670	46,500	36,400	99	100	100	100	99
果実的野菜	21,200	...	645,400	573,100	97	nc	102	102	nc
いちご	5,110	3,230	165,200	152,100	98	104	102	102	109
メロン	6,410	2,430	156,000	141,900	97	105	102	102	107
すいか	9,640	3,360	324,200	279,100	97	104	101	101	103

注：「(参考)対平均収量比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万900haで、前年産に比べ500ha（2%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,210kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は130万tで、前年産に比べ2万8,000t（2%）減少した。

エ 出荷量

出荷量は107万3,000tで、前年産に比べ1万6,000t（1%）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春だいこん

作付面積は4,350haで、前年産に比べ100ha（2%）減少した。

10a当たり収量は4,730kgで、前年産並みとなった。

収穫量は20万5,600t、出荷量は18万7,000tで、前年産に比べそれぞれ4,800t（2%）、4,700t（2%）減少した。

(イ) 夏だいこん

作付面積は6,050haで、前年産に比べ60ha（1%）増加した。

10a当たり収量は4,150kgで、前年産に比べ140kg（3%）上回った。

収穫量は25万800t、出荷量は23万900tで、前年産に比べそれぞれ1万600t（4%）、1万2,000t（5%）増加した。

(ウ) 秋冬だいこん

作付面積は2万500haで、前年産に比べ500ha（2%）減少した。

10a当たり収量は4,110kgで、前年産に比べ70kg（2%）下回った。

収穫量は84万3,500t、出荷量は65万4,900tで、前年産に比べそれぞれ3万3,400t（4%）、2万3,400t（3%）減少した。

図2 だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

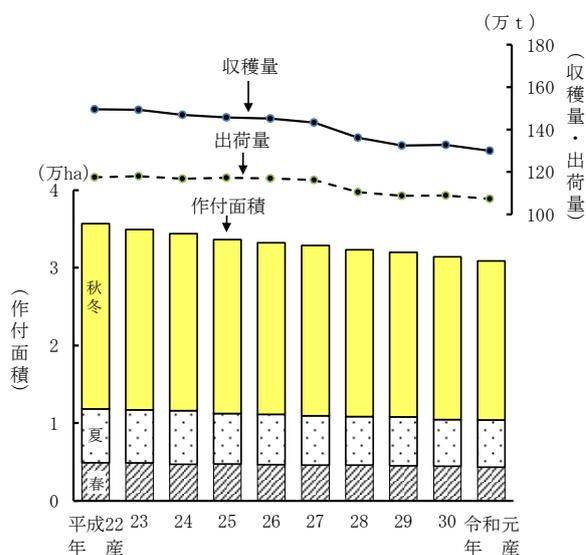


表2 令和元年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
だいこん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	4,350	4,730	205,600	187,000	98	100	98	98	99
夏	6,050	4,150	250,800	230,900	101	103	104	105	105
秋冬	20,500	4,110	843,500	654,900	98	98	96	97	96

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万7,000haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,500kgで、前年産に比べ160kg（5%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は59万4,900tで、前年産に比べ2万200t（4%）増加した。

エ 出荷量

出荷量は53万3,800tで、前年産に比べ2万1,300t（4%）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春夏にんじん

作付面積は4,150haで、前年産に比べ40ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,900kgで、前年産に比べ190kg（5%）上回った。これは、暖冬の影響により生育が良好であったためである。

収穫量は16万1,800t、出荷量は14万8,900tで前年産に比べそれぞれ6,300t（4%）、6,000t（4%）増加した。

(イ) 秋にんじん

作付面積は5,370haで、前年産に比べ40ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,910kgで、前年産に比べ610kg（18%）上回った。これは、北海道及び青森県において、おおむね天候に恵まれ生育が良好となったためである。

収穫量は21万100t、出荷量は19万1,500tで、前年産に比べそれぞれ3万1,600t（18%）、3万100t（19%）増加した。

(ウ) 冬にんじん

作付面積は7,520haで、前年産に比べ110ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は2,970kgで、前年産に比べ190kg（6%）下回った。これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は22万3,000t、出荷量は19万3,400tで、前年産に比べそれぞれ1万8,000t（7%）、1万4,800t（7%）減少した。

図3 にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

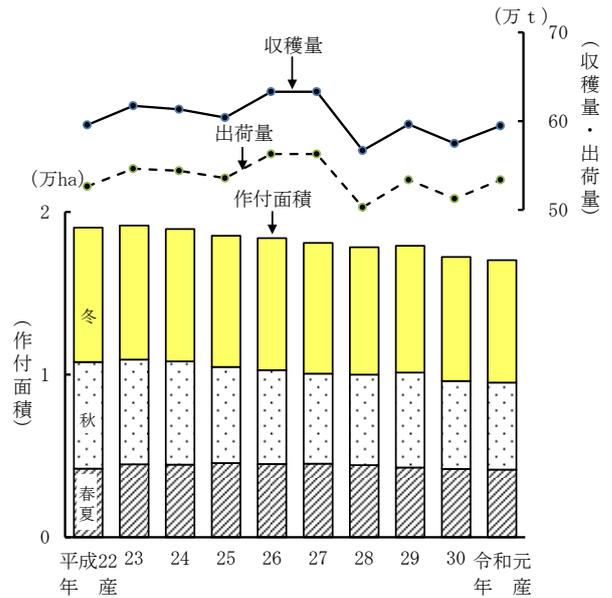


表3 令和元年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	
にんじん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春夏	4,150	3,900	161,800	148,900	99	105	104	104	104
秋	5,370	3,910	210,100	191,500	99	118	118	119	118
冬	7,520	2,970	223,000	193,400	99	94	93	93	95

(3) ばれいしょ（じゃがいも）

ア 作付面積

作付面積は7万4,400haで、前年産に比べ2,100ha（3%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,220kgで、前年産に比べ270kg（9%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は239万9,000tで、前年産に比べ13万9,000t（6%）増加した。

エ 出荷量

出荷量は202万7,000tで、前年産に比べ13万8,000t（7%）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょ

作付面積は7万2,000haで、前年産に比べ2,000ha（3%）減少した。これは、主に北海道において、小麦や小豆への転換等があったためである。

10a 当たり収量は3,270kgで、前年産に比べ280kg（9%）上回った。これは、主に北海道において、生育期間全般において天候に恵まれ、いもの肥大が良好であったためである。

収穫量は235万7,000t、出荷量は199万6,000tで、前年産に比べそれぞれ14万2,000t（6%）、14万1,000t（8%）増加した。

(イ) 秋植えばれいしょ

作付面積は2,410haで、前年産に比べ100ha（4%）減少した。これは、長崎県において、他野菜への転換等があったためである。

10a 当たり収量は1,730kgで、前年産に比べ90kg（5%）下回った。これは、鹿児島県において、植付け後の高温の影響で生育が抑制等されたためである。

収穫量は4万1,800t、出荷量は3万1,400tで、前年産に比べそれぞれ3,800t（8%）、3,300t（10%）減少した。

図4 ばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

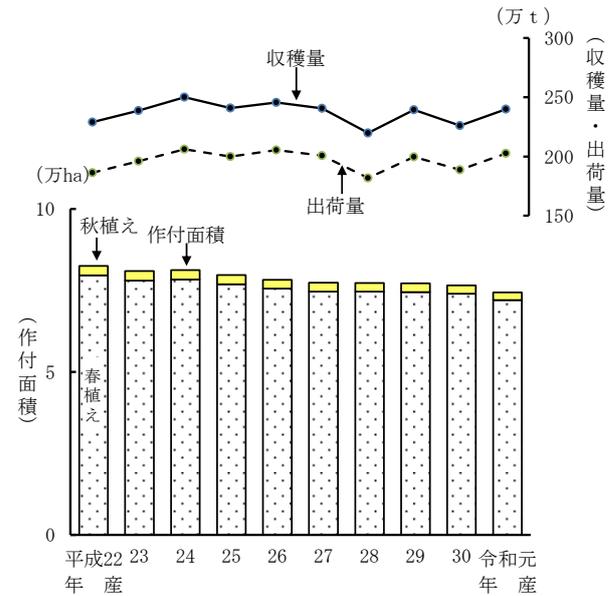


表4 令和元年産ばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ばれいしょ	74,400	3,220	2,399,000	2,027,000	97	109	106	107	106
春植え	72,000	3,270	2,357,000	1,996,000	97	109	106	108	105
秋植え	2,410	1,730	41,800	31,400	96	95	92	90	105

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万1,100haで、前年産に比べ400ha（3%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は14万400 t で、前年産に比べ4,400 t（3%）減少した。

エ 出荷量

出荷量は9万2,100 t で、前年産に比べ3,200 t（3%）減少した。

オ 季節区分別の概況

秋冬さといも

作付面積は1万1,100haで、前年産に比べ400ha（3%）減少した。これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産並みとなった。

収穫量は14万300 t、出荷量は9万2,100 t で、前年産に比べそれぞれ4,400 t（3%）、3,200 t（3%）減少した。

図5 さといもの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

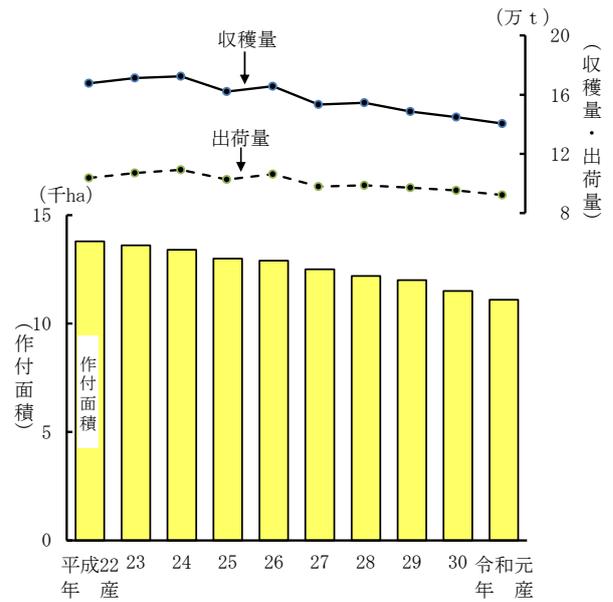


表5 令和元年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
さといも	11,100	1,260	140,400	92,100	97	100	97	97	100
うち秋冬	11,100	1,260	140,300	92,100	97	100	97	97	100

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は1万6,700haで、前年産に比べ300ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,240kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は87万4,800tで、前年産に比べ1万5,100t(2%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は72万6,500tで、前年産に比べ7,900t(1%)減少した。

オ 季節区別の概況

(ア) 春はくさい

作付面積は1,810haで、前年産に比べ30ha(2%)減少した。

10a当たり収量は6,450kgで、前年産に比べ140kg(2%)上回った。

収穫量は11万6,800t、出荷量は10万7,600tで、前年産に比べそれぞれ700t(1%)、700t(1%)増加した。

(イ) 夏はくさい

作付面積は2,460haで、前年産に比べ40ha(2%)増加した。

10a当たり収量は7,300kgで、前年産に比べ100kg(1%)下回った。

収穫量は17万9,500t、出荷量は16万3,200tで、それぞれ前年産並みとなった。

(ウ) 秋冬はくさい

作付面積は1万2,500haで、前年産に比べ200ha(2%)減少した。

10a当たり収量は4,630kgで、前年産に比べ50kg(1%)下回った。

収穫量は57万8,500t、出荷量は45万5,700tで、前年産に比べそれぞれ1万6,300t(3%)、9,100t(2%)減少した。

図6 はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

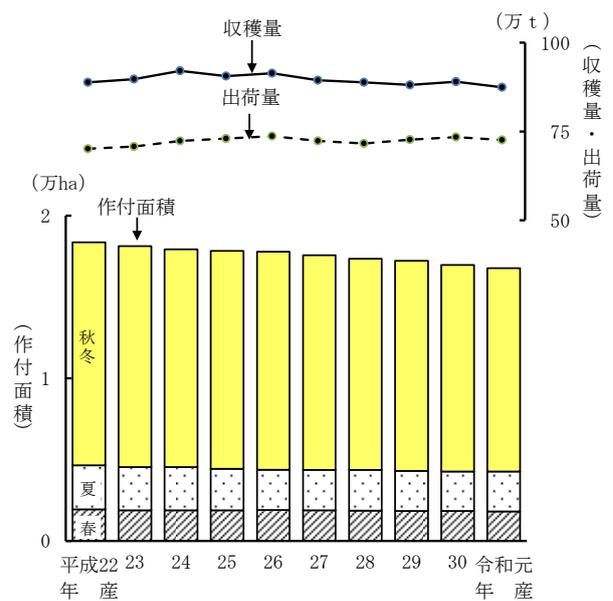


表6 令和元年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
はくさい	16,700	5,240	874,800	726,500	98	100	98	99	102
春	1,810	6,450	116,800	107,600	98	102	101	101	106
夏	2,460	7,300	179,500	163,200	102	99	100	100	101
秋冬	12,500	4,630	578,500	455,700	98	99	97	98	101

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万4,600haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,250kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は147万2,000tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は132万5,000tで、前年産並みとなった。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春キャベツ

作付面積は8,860haで、前年産に比べ180ha(2%)減少した。

10a 当たり収量は4,020kgで、前年産に比べ150kg(4%)下回った。

収穫量は35万6,500t、出荷量は32万3,700tで、前年産に比べそれぞれ2万300t(5%)、1万6,900t(5%)減少した。

(イ) 夏秋キャベツ

作付面積は1万300haで、前年産に比べ100ha(1%)増加した。

10a 当たり収量は4,860kgで、前年産に比べ40kg(1%)下回った。

収穫量は50万800t、出荷量は44万9,900tで、それぞれ前年産並みとなった。

(ウ) 冬キャベツ

作付面積は1万5,400haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は3,990kgで、前年産に比べ160kg(4%)上回った。

収穫量は61万4,300t、出荷量は55万1,400tで、前年産に比べそれぞれ2万4,200t(4%)、2万1,300t(4%)増加した。

図7 キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

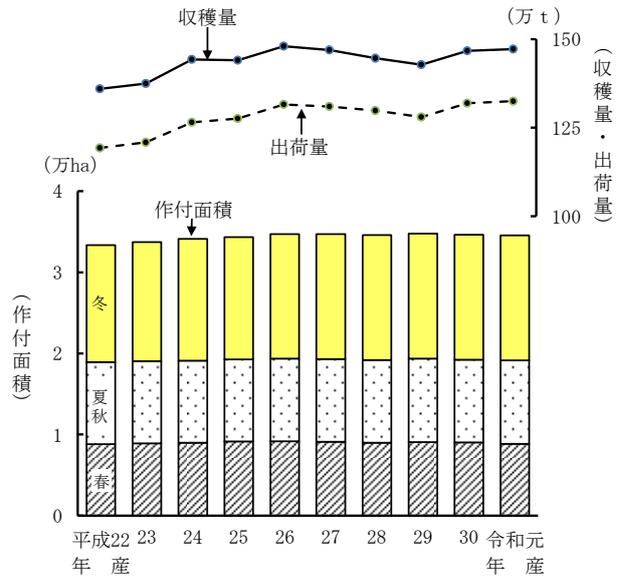


表7 令和元年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a 当たり収	10a 当たり量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
						作付面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
キャベツ	34,600	4,250	1,472,000	1,325,000	100	100	100	100	101	
春	8,860	4,020	356,500	323,700	98	96	95	95	97	
夏秋	10,300	4,860	500,800	449,900	101	99	100	100	104	
冬	15,400	3,990	614,300	551,400	100	104	104	104	101	

(7) ほうれんそう

作付面積は1万9,900haで、前年産に比べ400ha（2%）減少した。

10a当たり収量は1,090kgで、前年産に比べ30kg（3%）下回った。

収穫量は21万7,800tで、前年産に比べ1万500t（5%）減少した。

出荷量は18万4,900tで、前年産に比べ9,900t（5%）減少した。

図8 ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

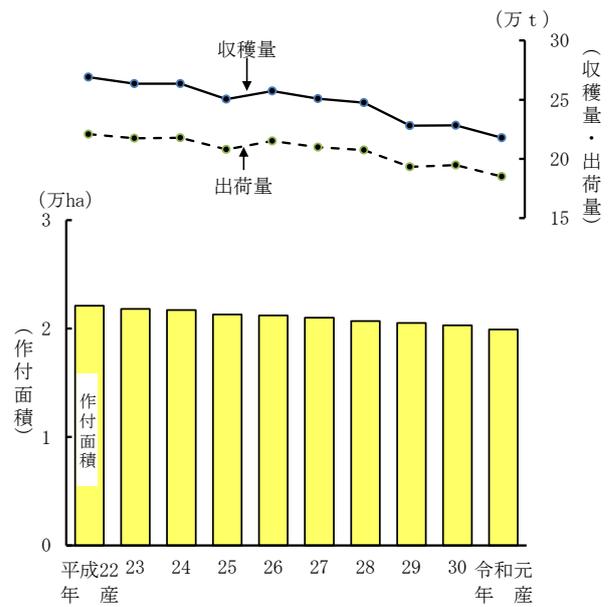


表8 令和元年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ほうれんそう	19,900	1,090	217,800	184,900	98	97	95	95	92

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万1,200haで、前年産に比べ500ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,730kgで、前年産に比べ30kg（1%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は57万8,100tで、前年産に比べ7,500t（1%）減少した。

エ 出荷量

出荷量は54万5,600tで、前年産に比べ7,600t（1%）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春レタス

作付面積は4,310haで、前年産に比べ80ha（2%）減少した。

10a 当たり収量は2,750kgで、前年産並みとなった。

収穫量は11万8,500t、出荷量は11万1,200tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（2%）、2,200t（2%）減少した。

(イ) 夏秋レタス

作付面積は9,100haで、前年産に比べ160ha（2%）減少した。

10a 当たり収量は3,010kgで、前年産並みとなった。

収穫量は27万3,600t、出荷量は26万2,100tで、前年産に比べそれぞれ4,900t（2%）、5,100t（2%）減少した。

(ウ) 冬レタス

作付面積は7,790haで、前年産に比べ240ha（3%）減少した。これは、茨城県において、他作物への転換等があったためである。

10a 当たり収量は2,390kgで、前年産に比べ70kg（3%）上回った。

収穫量は18万6,000t、出荷量は17万2,300tで、それぞれ前年産並みとなった。

図9 レタスの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

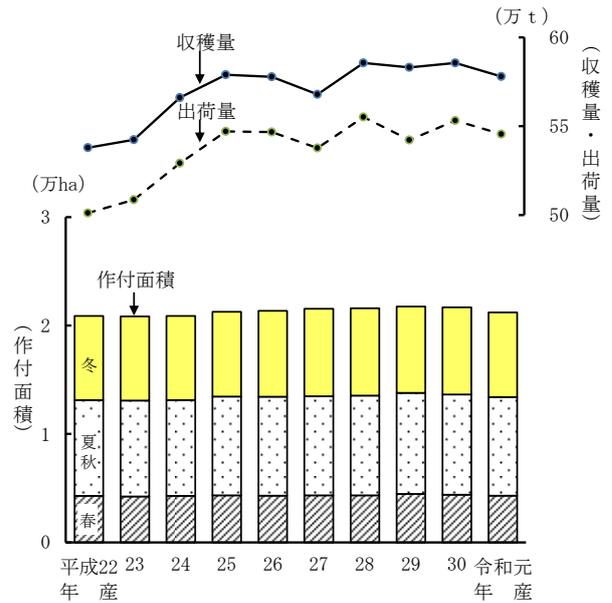


表9 令和元年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
レ タ ス	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
レ タ ス	21,200	2,730	578,100	545,600	98	101	99	99	101
春	4,310	2,750	118,500	111,200	98	100	98	98	103
夏 秋	9,100	3,010	273,600	262,100	98	100	98	98	98
冬	7,790	2,390	186,000	172,300	97	103	100	100	104

(9) ね ぎ

ア 作付面積

作付面積は2万2,400haで、前年産並みとなった。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は2,080kgで、前年産に比べ60kg（3%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は46万5,300 t で、前年産に比べ1万2,400 t（3%）増加した。

エ 出荷量

出荷量は38万2,500 t で、前年産に比べ1万2,200 t（3%）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春ねぎ

作付面積は3,410haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

10 a 当たり収量は2,370kgで、前年産に比べ110kg（5%）上回った。これは、千葉県において、低温の影響により作柄の悪かった前年産に比べて生育が良好であったためである。

収穫量は8万900 t、出荷量は7万1,800 t で、前年産に比べそれぞれ3,400 t（4%）、3,100 t（5%）増加した。

(イ) 夏ねぎ

作付面積は4,910haで、前年産並みとなった。

10 a 当たり収量は1,840kgで、前年産に比べ90kg（5%）上回った。これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は9万500 t、出荷量は8万700 t で、前年産に比べそれぞれ4,300 t（5%）、4,100 t（5%）増加した。

(ウ) 秋冬ねぎ

作付面積は1万4,100haで、前年産に比べ100ha（1%）増加した。

10 a 当たり収量は2,080kgで、前年産並みとなった。

収穫量は29万3,900 t、出荷量は23万100 t で、前年産に比べそれぞれ4,600 t（2%）、5,000 t（2%）増加した。

図10 ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

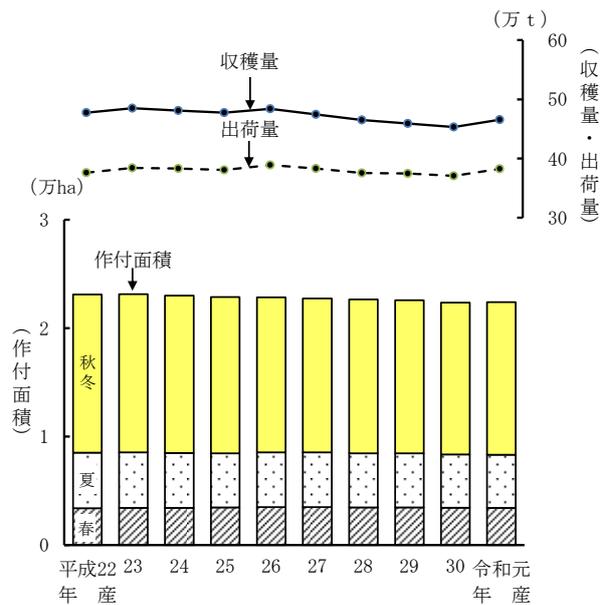


表10 令和元年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ね ぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	3,410	2,370	80,900	71,800	99	105	104	105	98
夏	4,910	1,840	90,500	80,700	100	105	105	105	102
秋 冬	14,100	2,080	293,900	230,100	101	100	102	102	100

(10) たまねぎ

作付面積は2万5,900haで、前年産に比べ300ha（1%）減少した。

10a当たり収量は5,150kgで、前年産に比べ740kg（17%）上回った。これは、北海道において、7月下旬から8月上旬の高温・多照により、たまねぎの球肥大が良好であったためである。

収穫量は133万4,000tで、前年産に比べ17万9,000t（15%）増加した。

出荷量は121万1,000tで、前年産に比べ16万9,000t（16%）増加した。

図11 たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

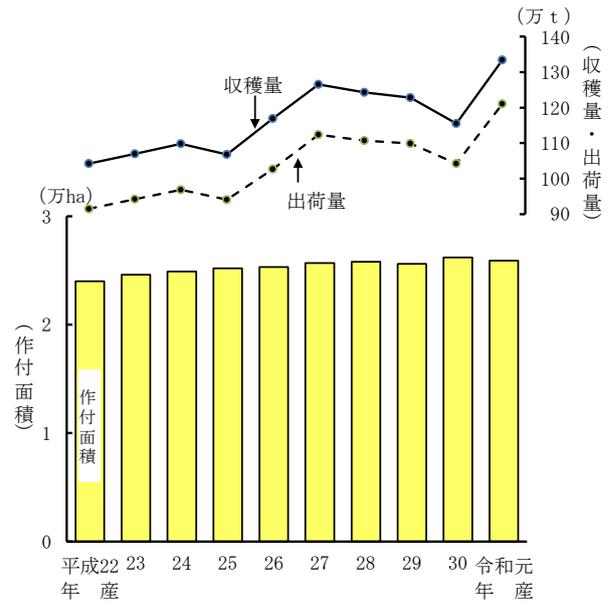


表11 令和元年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
たまねぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	25,900	5,150	1,334,000	1,211,000	99	117	115	116	112

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万300haで、前年産に比べ300ha（3%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,320kgで、前年産に比べ130kg（3%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は54万8,100tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は47万4,700tで、前年産並みとなった。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春きゅうり

作付面積は2,720haで、前年産に比べ40ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は1万700kgで、前年産に比べ100kg（1%）下回った。

収穫量は29万100t、出荷量は27万2,100tで、前年産に比べそれぞれ8,000t（3%）、8,400t（3%）減少した。

(イ) 夏秋きゅうり

作付面積は7,580haで、前年産に比べ230ha（3%）減少した。これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は3,400kgで、前年産に比べ180kg（6%）上回った。これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は25万8,000t、出荷量は20万2,600tで、前年産に比べそれぞれ6,200t（2%）、7,000t（4%）増加した。

図12 きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

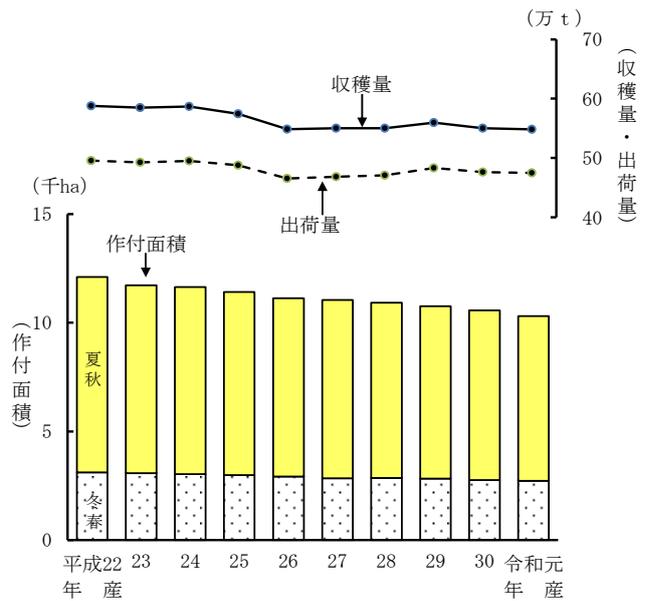


表12 令和元年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
き ゅ う り	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	10,300	5,320	548,100	474,700	97	103	100	100	105
夏 秋	2,720	10,700	290,100	272,100	99	99	97	97	104
冬 春	7,580	3,400	258,000	202,600	97	106	102	104	107

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は8,650haで、前年産に比べ320ha（4％）減少した。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は3,490kgで、前年産に比べ140kg（4％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は30万1,700 t で、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は23万9,500 t で、前年産に比べ3,400 t（1％）増加した。

オ 季節区別の概況

(ア) 冬春なす

作付面積は1,070haで、前年産に比べ10ha（1％）減少した。

10 a 当たり収量は1万1,200kgで、前年産に比べ400kg（4％）上回った。

収穫量は11万9,700 t、出荷量は11万2,900 t で、前年産に比べそれぞれ2,800 t（2％）、2,600 t（2％）増加した。

(イ) 夏秋なす

作付面積は7,580haで、前年産に比べ310a（4％）減少した。これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小等があったためである。

10 a 当たり収量は2,400kgで、前年産に比べ70kg（3％）上回った。

収穫量は18万2,000 t で前年産に比べ1,500 t（1％）減少し、出荷量は12万6,500 t で前年産に比べ700 t（1％）増加した。

図13 なすの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

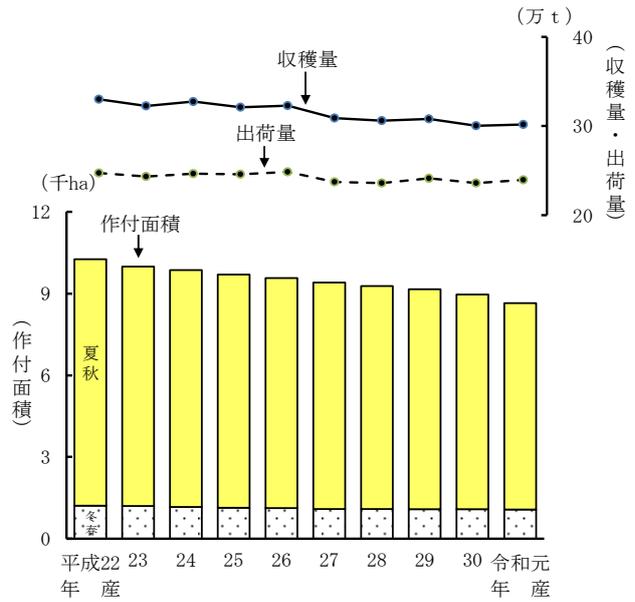


表13 令和元年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
な す	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	8,650	3,490	301,700	239,500	96	104	100	101	105
夏 秋	1,070	11,200	119,700	112,900	99	104	102	102	107
	7,580	2,400	182,000	126,500	96	103	99	101	102

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万1,600haで、前年産に比べ200ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は6,210kgで、前年産に比べ70kg（1%）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は72万600tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は65万3,800tで、前年産に比べ3,300t（1%）減少した。

オ 季節区別の概況

(ア) 冬春トマト

作付面積は3,920haで、前年産に比べ50ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は1万200kgで、前年産に比べ100kg（1%）下回った。

収穫量は40万400t、出荷量は37万9,600tで、前年産に比べそれぞれ9,200t（2%）、9,200t（2%）減少した。

(イ) 夏秋トマト

作付面積は7,660haで、前年産に比べ150ha（2%）減少した。

10a 当たり収量は4,180kgで、前年産に比べ150kg（4%）増加した。

収穫量は32万200t、出荷量は27万4,200tで、前年産に比べそれぞれ5,600t（2%）、5,900t（2%）増加した。

図14 トマトの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

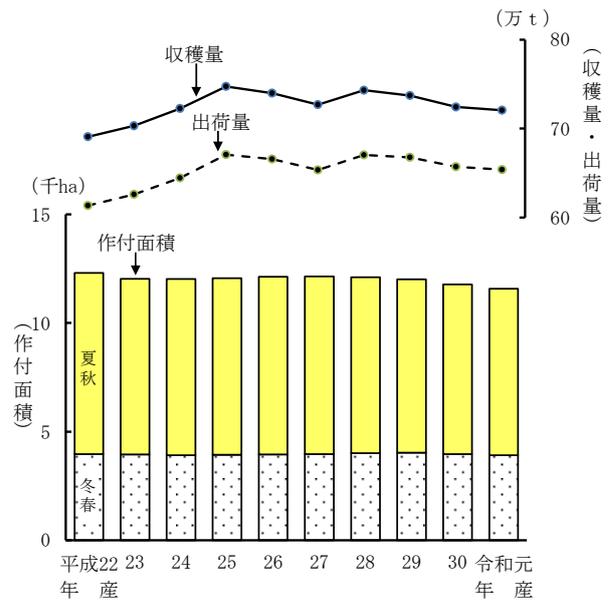


表14 令和元年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ト マ ト	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	11,600	6,210	720,600	653,800	98	101	100	99	102
夏 秋	3,920	10,200	400,400	379,600	99	99	98	98	103
	7,660	4,180	320,200	274,200	98	104	102	102	99

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,200haで、前年産に比べ20ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,550kgで、前年産に比べ190kg(4%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万5,700tで、前年産に比べ5,500t(4%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は12万9,500tで、前年産に比べ5,000t(4%)増加した。

オ 季節区別の概況

(ア) 冬春ピーマン

作付面積は745haで、前年産に比べ4ha(1%)増加した。

10a当たり収量は1万500kgで、前年産に比べ300kg(3%)上回った。

収穫量は7万8,200t、出荷量は7万4,000tで、前年産に比べそれぞれ2,300t(3%)、2,100t(3%)増加した。

(イ) 夏秋ピーマン

作付面積は2,460haで、前年産に比べ20ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,750kgで、前年産に比べ150kg(6%)上回った。これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は6万7,600t、出荷量は5万5,600tで、前年産に比べそれぞれ3,200t(5%)、3,000t(6%)増加した。

図15 ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

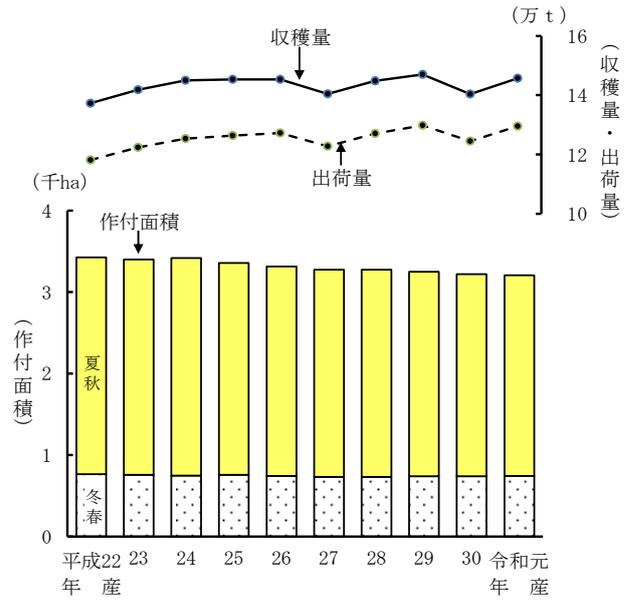


表15 令和元年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ピーマン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬春	3,200	4,550	145,700	129,500	99	104	104	104	104
夏秋	745	10,500	78,200	74,000	101	103	103	103	102
	2,460	2,750	67,600	55,600	99	106	105	106	104

3 指定野菜に準ずる野菜の品目別の概要

(1) 根菜類

ア かぶ

作付面積は4,210haで、前年産に比べ90ha（2％）減少した。

10a当たり収量は2,670kgで、前年産に比べ70kg（3％）下回った。

収穫量は11万2,600t、出荷量は9万3,300tで、前年産に比べそれぞれ5,100t（4％）、4,600t（5％）減少した。

図16 かぶの作付面積、収穫量及び出荷量の推移 (万t)

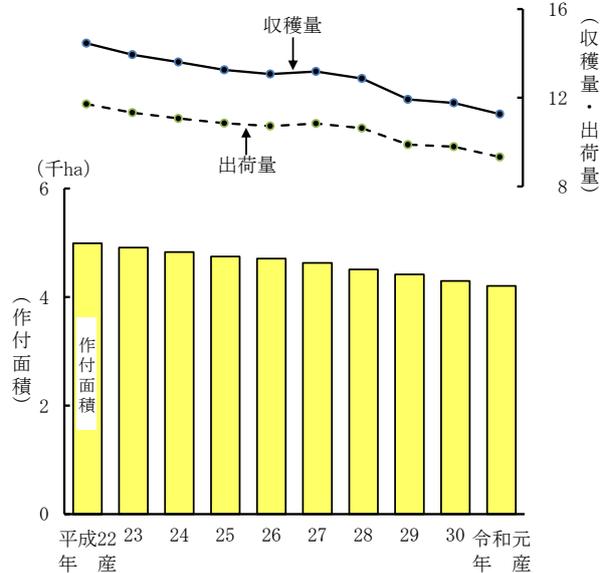


表16 令和元年産かぶの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
かぶ	ha 4,210	kg 2,670	t 112,600	t 93,300	% 98	% 97	% 96	% 95	% 96

イ ごぼう

作付面積は7,540haで、前年産に比べ170ha（2％）減少した。

10a当たり収量は1,810kgで、前年産に比べ60kg（3％）上回った。

収穫量は13万6,800t、出荷量は11万9,400tで、前年産に比べそれぞれ1,500t（1％）、2,200t（2％）増加した。

図17 ごぼうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移 (万t)

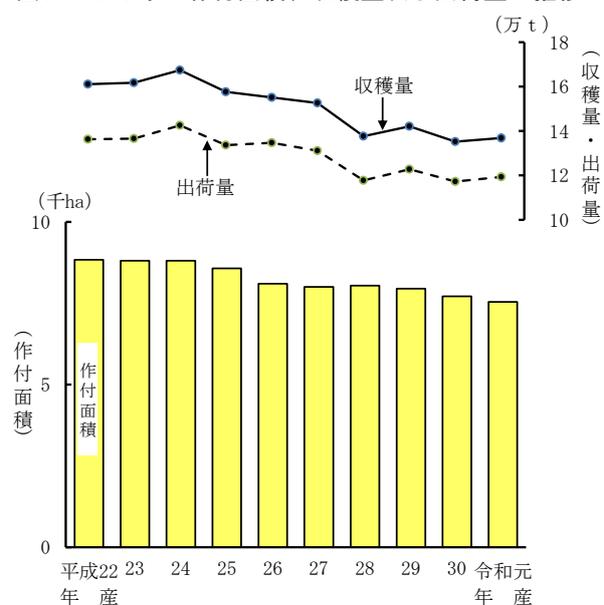


表17 令和元年産ごぼうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ごぼう	ha 7,540	kg 1,810	t 136,800	t 119,400	% 98	% 103	% 101	% 102	% 98

ウ れんこん

作付面積は3,910haで、前年産に比べ90ha（2％）減少した。

10 a 当たり収量は1,350kgで、前年産に比べ180kg（12％）下回った。

これは、茨城県等において、台風の影響により茎葉の損傷が発生し、肥大が抑制されたためである。

収穫量は5万2,700 t、出荷量は4万4,500 t で、前年産に比べそれぞれ8,600 t（14％）、7,100 t（14％）減少した。

図18 れんこんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

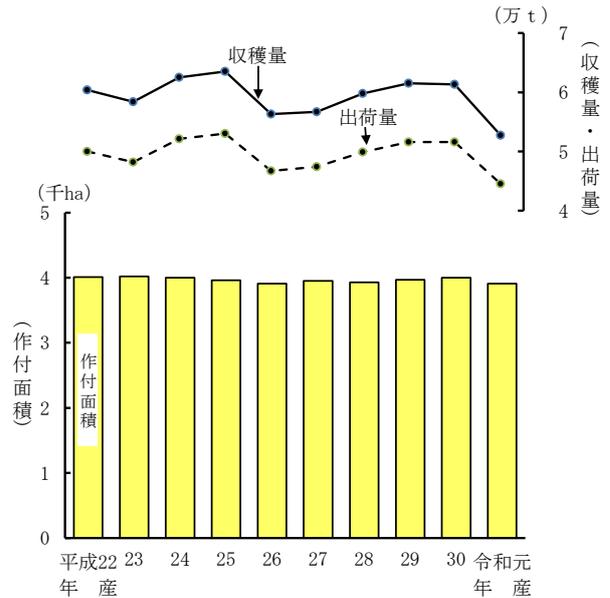


表18 令和元年産れんこんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
れんこん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	3,910	1,350	52,700	44,500	98	88	86	86	89

エ やまのいも

作付面積は7,130haで、前年産並みとなった。

10 a 当たり収量は2,420kgで、前年産に比べ210kg（10％）上回った。

これは、北海道において、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は17万2,700 t、出荷量は14万5,500 t で、前年産に比べそれぞれ1万5,300 t（10％）、1万1,100 t（8％）増加した。

図19 やまのいもの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

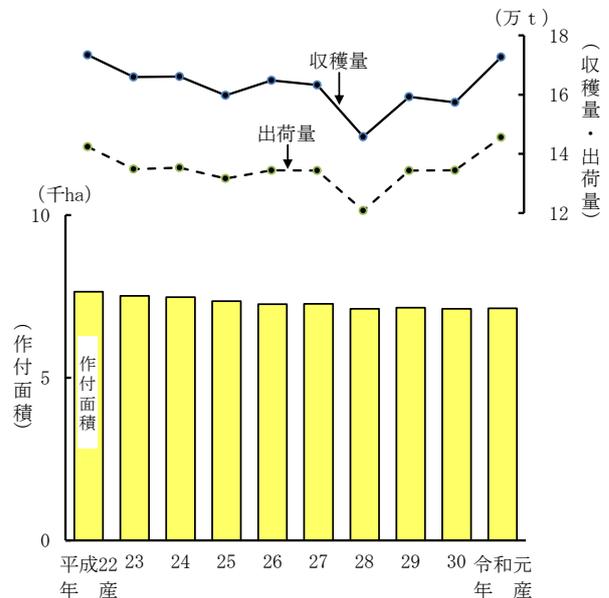


表19 令和元年産やまのいもの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
やまのいも	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	7,130	2,420	172,700	145,500	100	110	110	108	110

(2) 葉茎菜類

ア こまつな

作付面積は7,300haで、前年産に比べ50ha（1%）増加した。

10a当たり収量は1,570kgで、前年産に比べ20kg（1%）下回った。

収穫量は11万4,900tで、前年産に比べ700t（1%）減少し、出荷量は10万2,100tで、前年産並みとなった。

図20 こまつなの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

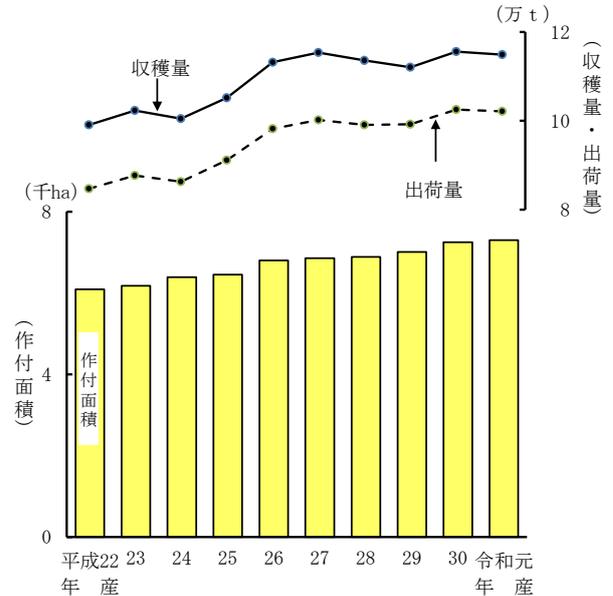


表20 令和元年産こまつなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
こまつな	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	7,300	1,570	114,900	102,100	101	99	99	100	96

イ ちんげんさい

作付面積は2,140haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

10a当たり収量は1,920kgで、前年産に比べ20kg（1%）下回った。

収穫量は4万1,100t、出荷量は3万6,100tで、前年産に比べそれぞれ900t（2%）、1,400t（4%）減少した。

図21 ちんげんさいの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

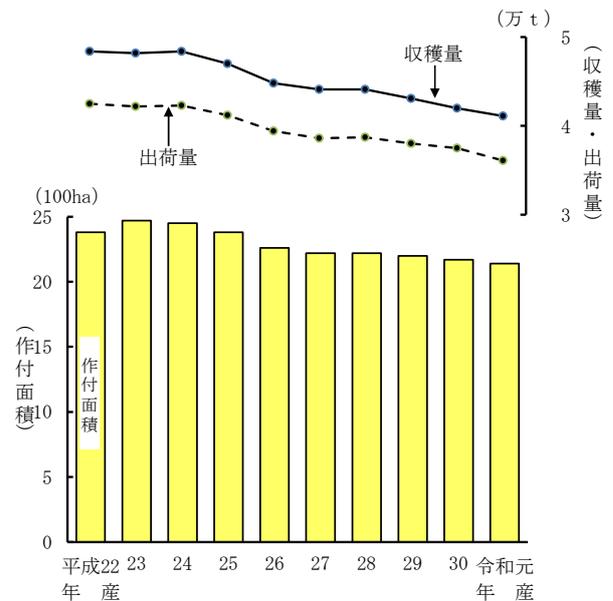


表21 令和元年産ちんげんさいの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ちんげんさい	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,140	1,920	41,100	36,100	99	99	98	96	97

ウ ふき

作付面積は518haで、前年産に比べ20ha（4％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は1,800kgで、前年産に比べ100kg（5％）下回った。

これは、群馬県で、4月から5月の少雨により、葉柄の生育が抑制されたためである。

収穫量は9,300 t、出荷量は7,850 tで、前年産に比べそれぞれ900 t（9％）、710 t（8％）減少した。

図22 ふきの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

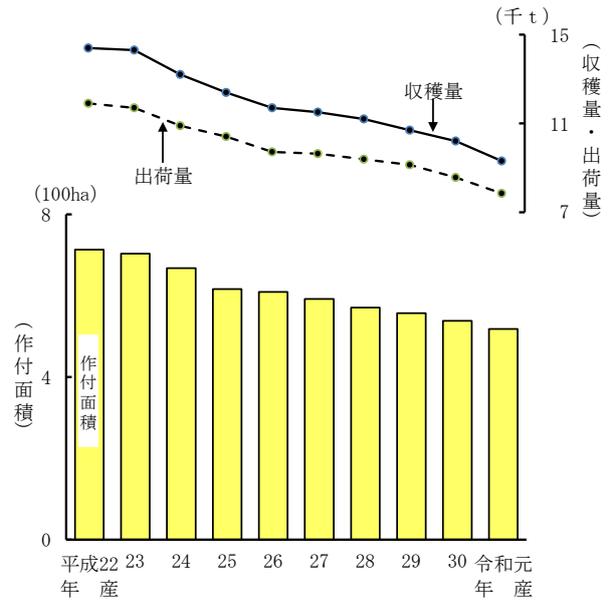


表22 令和元年産ふきの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ふき	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	518	1,800	9,300	7,850	96	95	91	92	93

エ みつば

作付面積は891haで、前年産に比べ40ha（4％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は1,570kgで、前年産に比べ40kg（2％）下回った。

収穫量は1万4,000 t、出荷量は1万3,200 tで、前年産に比べそれぞれ1,000 t（7％）、800 t（6％）減少した。

図23 みつばの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

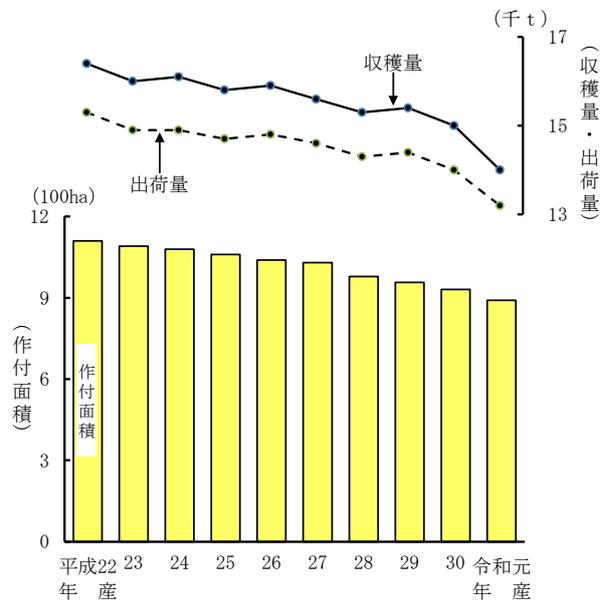


表23 令和元年産みつばの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
みつば	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	891	1,570	14,000	13,200	96	98	93	94	102

オ しゅんぎく

作付面積は1,830haで、前年産に比べ50ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10a当たり収量は1,470kgで、前年産に比べ20kg（1%）下回った。

収穫量は2万6,900t、出荷量は2万1,800tで、前年産に比べそれぞれ1,100t（4%）、800t（4%）減少した。

図24 しゅんぎくの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

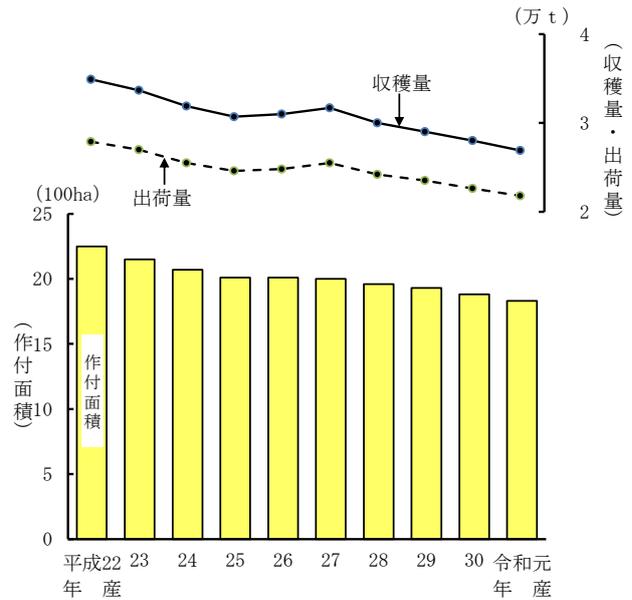


表24 令和元年産しゅんぎくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
しゅんぎく	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,830	1,470	26,900	21,800	97	99	96	96	96

カ みずな

作付面積は2,480haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

10a当たり収量は1,790kgで、前年産に比べ70kg（4%）上回った。

収穫量は4万4,400t、出荷量は3万9,800tで、前年産に比べそれぞれ1,300t（3%）、800t（2%）増加した。

図25 みずなの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

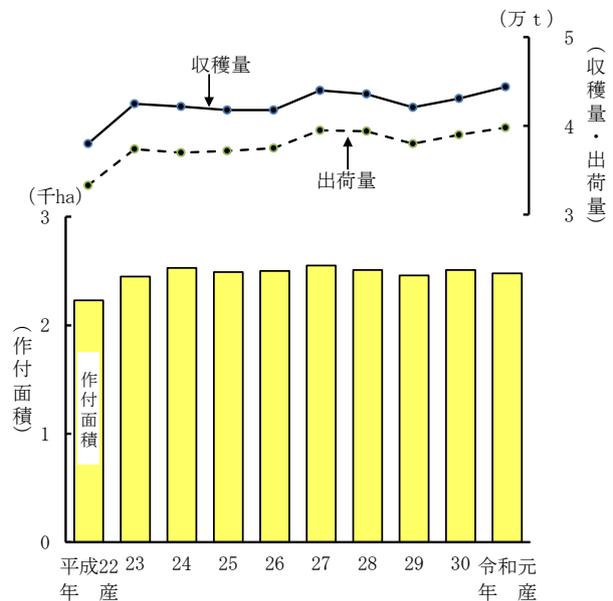


表25 令和元年産みずなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
みずな	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,480	1,790	44,400	39,800	99	104	103	102	105

キ セルリー

作付面積は552haで、前年産に比べ21ha（4％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は5,690kgで、前年産に比べ260kg（5％）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は3万1,400 t、出荷量は3万 tで、前年産に比べそれぞれ300 t（1％）、500 t（2％）増加した。

図26 セルリーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

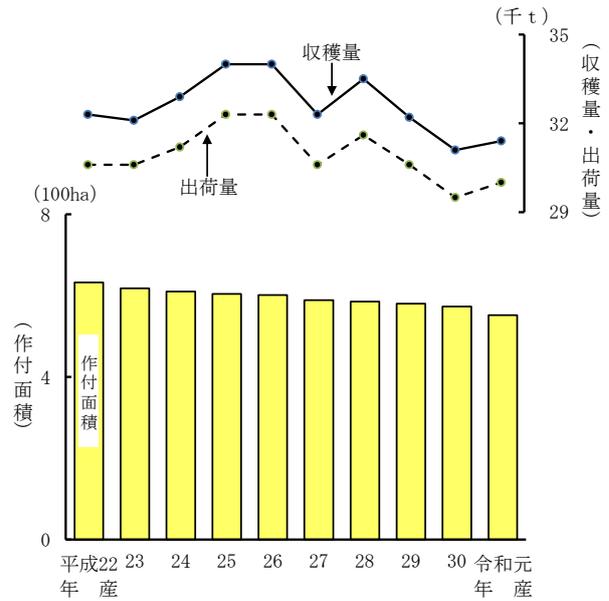


表26 令和元年産セルリーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
セルリー	552	5,690	31,400	30,000	96	105	101	102	103

ク アスパラガス

作付面積は5,010haで、前年産に比べ160ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や他野菜への転換があったためである。

10 a 当たり収量は535kgで、前年産に比べ22kg（4％）上回った。

収穫量は2万6,800 t、出荷量は2万3,600 tで、前年産に比べそれぞれ300 t（1％）、400 t（2％）増加した。

図27 アスパラガスの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

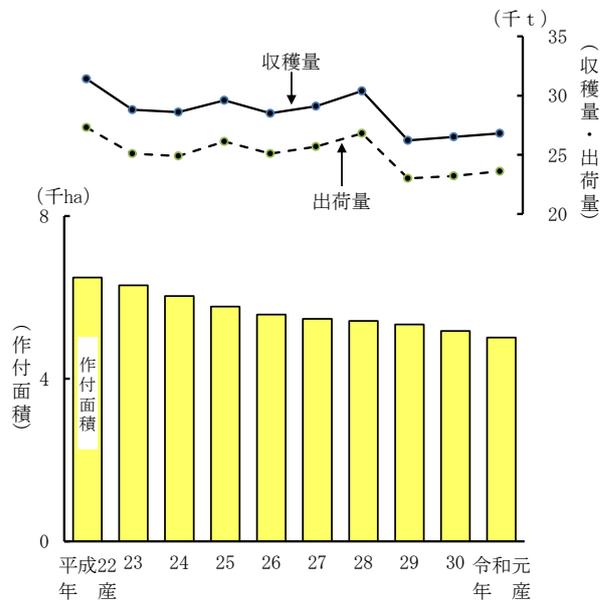


表27 令和元年産アスパラガスの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
アスパラガス	5,010	535	26,800	23,600	97	104	101	102	104

ケ カリフラワー

作付面積は1,230haで、前年産に比べ30ha（3%）増加した。

これは、熊本県において、他作物からの転換があったためである。

10a当たり収量は1,740kgで、前年産に比べ100kg（6%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ、生育が良好であったためである。

収穫量は2万1,400t、出荷量は1万8,300tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（9%）、1,700t（10%）増加した。

図28 カリフラワーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

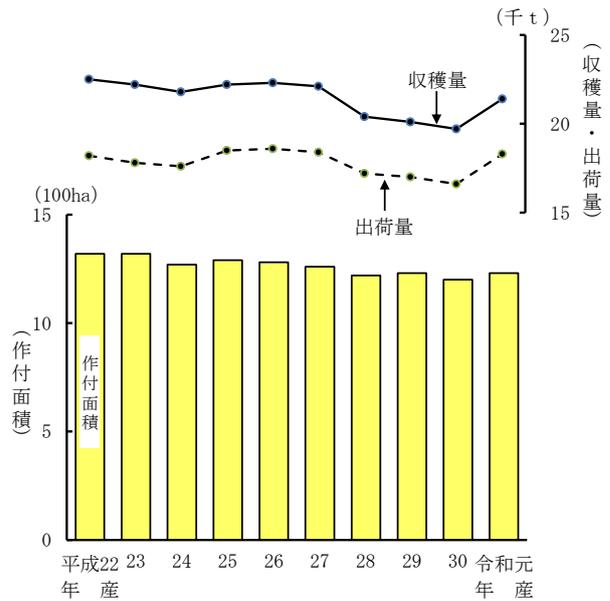


表28 令和元年産カリフラワーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
カリフラワー	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,230	1,740	21,400	18,300	103	106	109	110	102

コ ブロッコリー

作付面積は1万6,000haで、前年産に比べ600ha（4%）増加した。

これは、香川県、北海道等において、他野菜からの転換があったためである。

10a当たり収量は1,060kgで、前年産に比べ61kg（6%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ、生育が良好であったためである。

収穫量は16万9,500t、出荷量は15万3,700tで、前年産に比べそれぞれ1万5,700t（10%）、1万4,800t（11%）増加した。

図29 ブロッコリーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

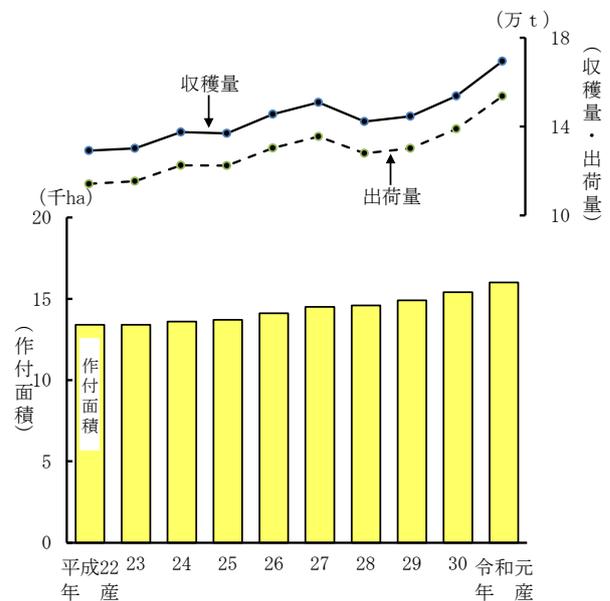


表29 令和元年産ブロッコリーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ブロッコリー	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	16,000	1,060	169,500	153,700	104	106	110	111	106

サ にら

作付面積は2,000haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

10 a 当たり収量は2,920kgで、前年産に比べ20kg（1%）上回った。

収穫量は5万8,300 t、出荷量は5万2,900 tで、それぞれ前年産並みとなった。

図30 にらの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

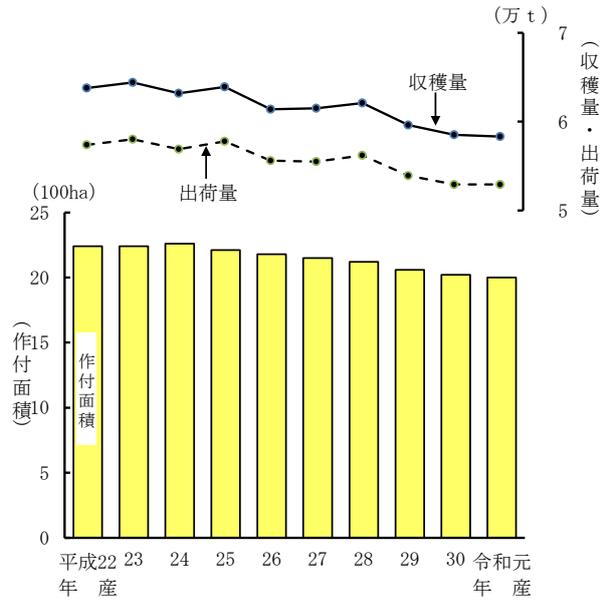


表30 令和元年産にらの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
にら	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,000	2,920	58,300	52,900	99	101	100	100	102

シ にんにく

作付面積は2,510haで、前年産に比べ40ha（2%）増加した。

10 a 当たり収量は829kgで、前年産に比べ11kg（1%）上回った。

収穫量は2万800 t、出荷量は1万5,000 tで、前年産に比べそれぞれ600 t（3%）、600 t（4%）増加した。

図31 にんにくの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

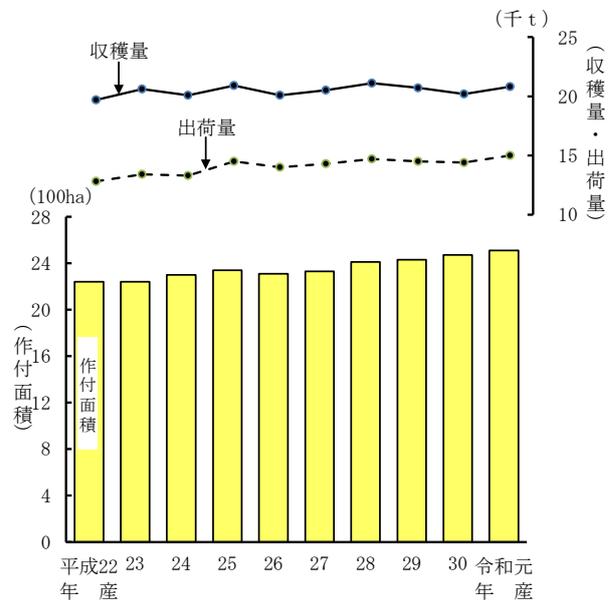


表31 令和元年産にんにくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
にんにく	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,510	829	20,800	15,000	102	101	103	104	95

(3) 果菜類

ア かぼちゃ

作付面積は1万5,300haで、前年産に比べ100ha（1%）増加した。

10a当たり収量は1,210kgで、前年産に比べ160kg（15%）上回った。

これは、主に北海道において、おおむね天候に恵まれ、作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は18万5,600t、出荷量は14万9,700tで、前年産に比べそれぞれ2万6,300t（17%）、2万4,500t（20%）増加した。

図32 かぼちゃの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

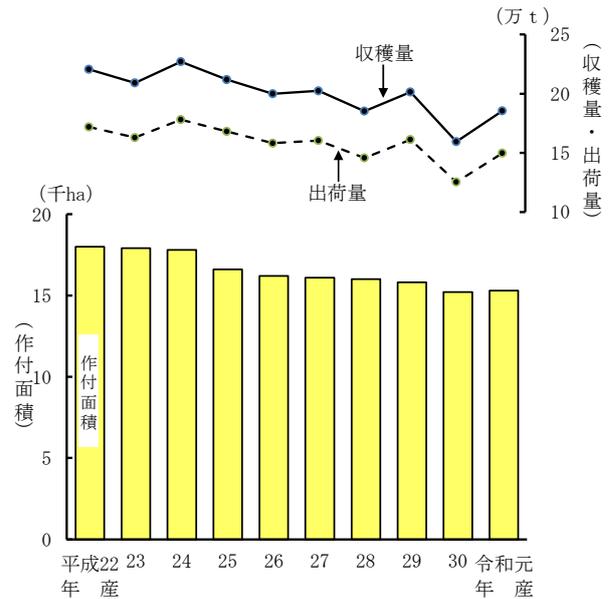


表32 令和元年産かぼちゃの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
かぼちゃ	15,300	1,210	185,600	149,700	101	115	117	120	98

イ スイートコーン

作付面積は2万3,000haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は1,040kgで、前年産に比べ98kg（10%）上回った。

これは、主に北海道において、おおむね天候に恵まれ、作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は23万9,000t、出荷量は19万5,000tで、前年産に比べそれぞれ2万1,400t（10%）、2万600t（12%）増加した。

図33 スイートコーンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

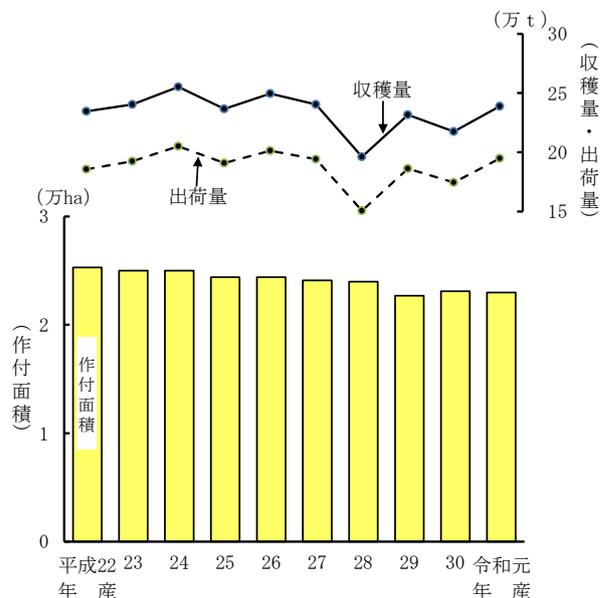


表33 令和元年産スイートコーンの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
スイートコーン	23,000	1,040	239,000	195,000	100	110	110	112	105

ウ さやいんげん

作付面積は5,190haで、前年産に比べ140ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10a当たり収量は738kgで、前年産に比べ36kg（5%）上回った。

これは、主に北海道において、おおむね天候に恵まれ、作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は3万8,300t、出荷量は2万5,800tで、前年産に比べそれぞれ900t（2%）、900t（4%）増加した。

図34 さやいんげんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

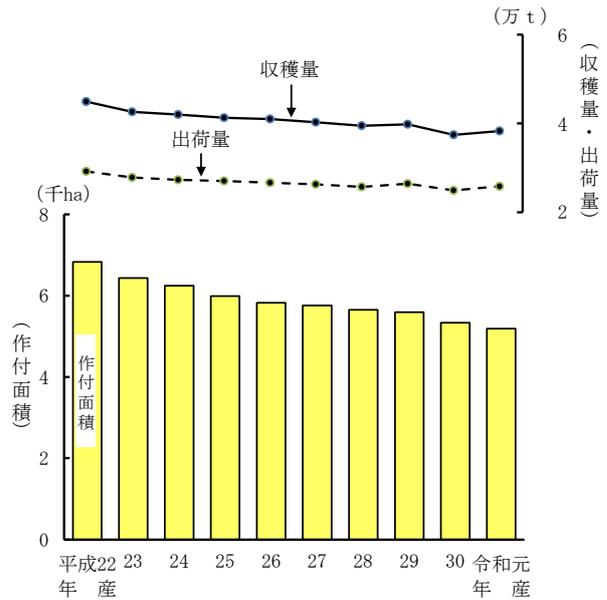


表34 令和元年産さやいんげんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
さやいんげん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	5,190	738	38,300	25,800	97	105	102	104	106

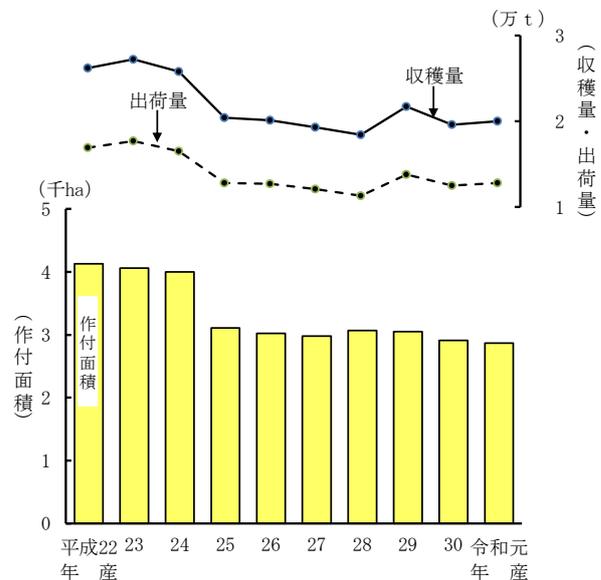
エ さやえんどう

作付面積は2,870haで、前年産に比べ40ha（1%）減少した。

10a当たり収量は697kgで、前年産に比べ23kg（3%）上回った。

収穫量は2万t、出荷量は1万2,800tで、前年産に比べそれぞれ400t（2%）、300t（2%）増加した。

図35 さやえんどうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表35 令和元年産さやえんどうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
さやえんどう	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,870	697	20,000	12,800	99	103	102	102	105

オ グリーンピース

作付面積は731haで、前年産に比べ29ha（4%）減少した。

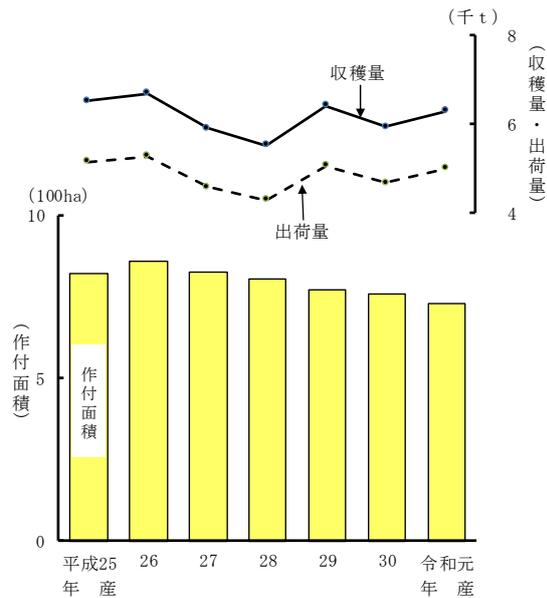
これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は860kgで、前年産に比べ78kg（10%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ、生育が良好であったためである。

収穫量は 6,290 t、出荷量は 5,000 t で、前年産に比べそれぞれ 350 t（6%）、320 t（7%）増加した。

図36 グリーンピースの作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表36 令和元年産グリーンピースの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量	
グリーンピース	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	731	860	6,290	5,000	96	110	106	107	112

カ そらまめ

作付面積は1,790haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

10 a 当たり収量は788kgで、前年産に比べ13kg（2%）下回った。

収穫量は 1万4,100 t、出荷量は9,970 t で、前年産に比べそれぞれ400 t（3%）、130 t（1%）減少した。

図37 そらまめの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

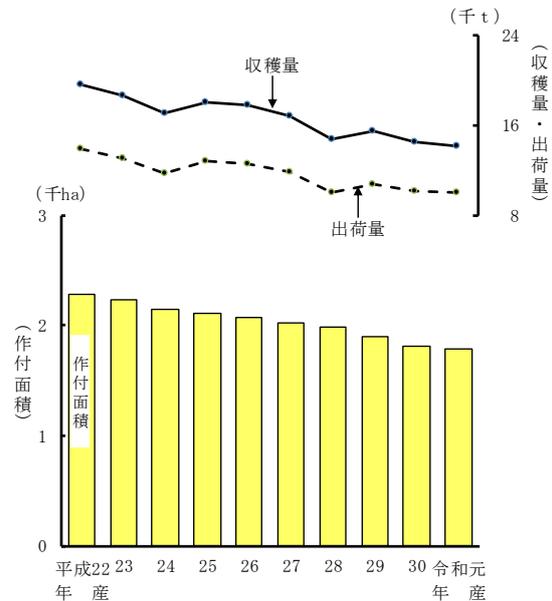


表37 令和元年産そらまめの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量	
そらまめ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,790	788	14,100	9,970	99	98	97	99	96

キ えだまめ

作付面積は1万3,000haで、前年産に比べ200ha（2%）増加した。

10a当たり収量は508kgで、前年産に比べ10kg（2%）上回った。

収穫量は6万6,100t、出荷量は5万500tで、前年産に比べそれぞれ2,300t（4%）、1,800t（4%）増加した。

図38 えだまめの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

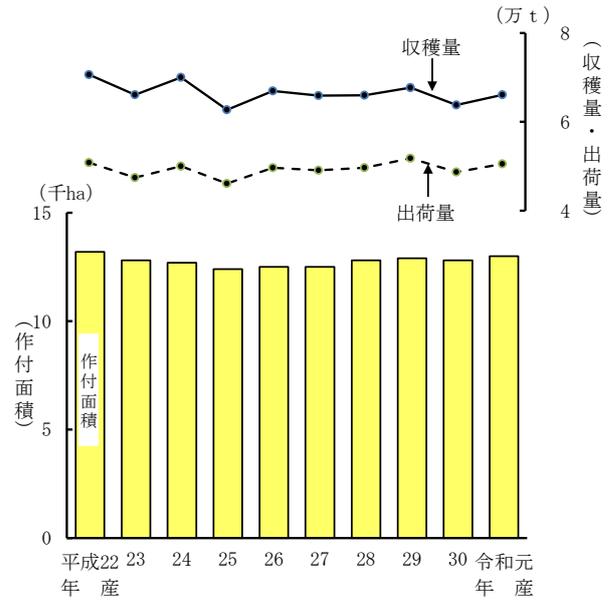


表38 令和元年産えだまめの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	
えだまめ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	13,000	508	66,100	50,500	102	102	104	104	97

(4) 香辛野菜

しょうが

作付面積は1,740haで、前年産に比べ10ha（1%）減少した。

10a当たり収量は2,670kgで、前年産並みとなった。

収穫量は4万6,500t、出荷量は3万6,400tで、それぞれ前年産並みとなった。

図39 しょうがの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

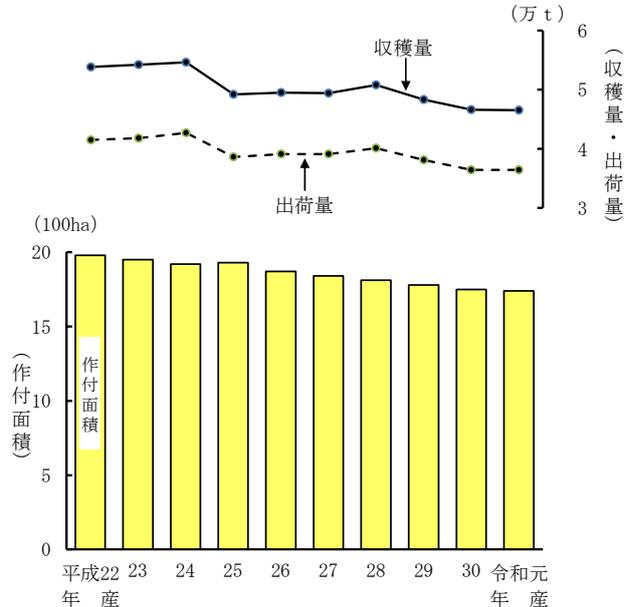


表39 令和元年産しょうがの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	
しょうが	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,740	2,670	46,500	36,400	99	100	100	100	99

(5) 果実的野菜

ア いちご

作付面積は5,110haで、前年産に比べ90ha（2%）減少した。

10a当たり収量は3,230kgで、前年産に比べ120kg（4%）上回った。

収穫量は16万5,200t、出荷量は15万2,100tで、前年産に比べそれぞれ3,400t（2%）、3,500t（2%）増加した。

図40 いちごの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

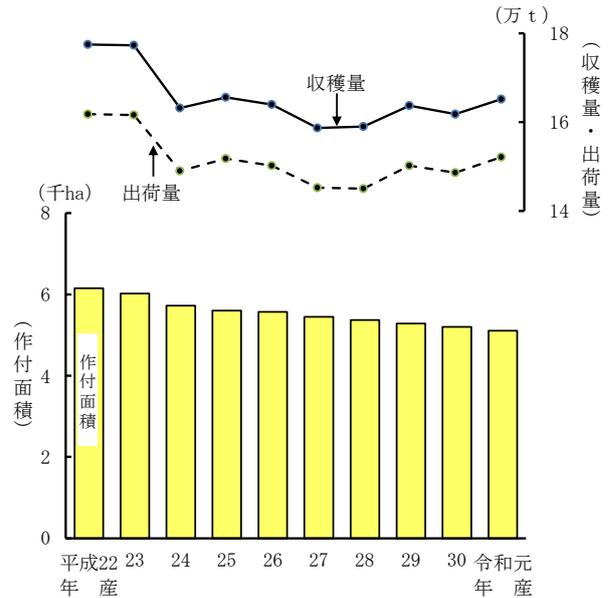


表40 令和元年産いちごの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
いちご	5,110	3,230	165,200	152,100	98	104	102	102	109

イ メロン

作付面積は6,410haで、前年産に比べ220ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や他野菜への転換があったためである。

10a当たり収量は2,430kgで、前年産に比べ120kg（5%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ、生育が良好であったためである。

収穫量は15万6,000t、出荷量は14万1,900tで、前年産に比べそれぞれ3,100t（2%）、3,200t（2%）増加した。

図41 メロンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

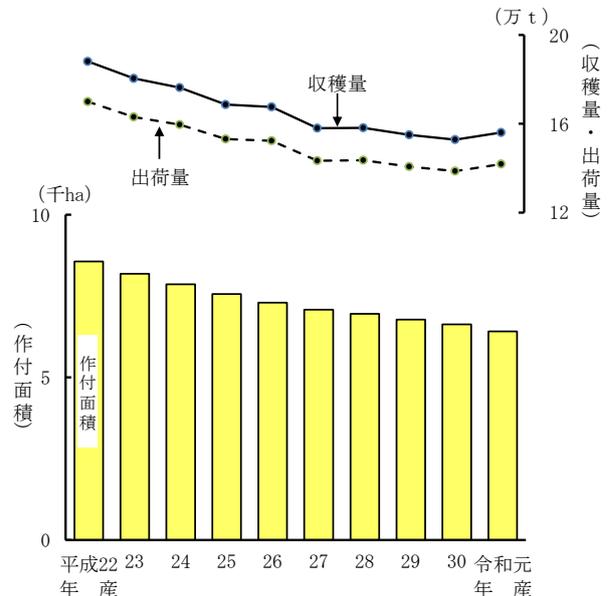


表41 令和元年産メロンの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
メロン	6,410	2,430	156,000	141,900	97	105	102	102	107

ウ すいか

作付面積は9,640haで、前年産に比べ330ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付け中止や規模縮小があったためである。

10a当たり収量は3,360kgで、前年産に比べ140kg（4%）上回った。

収穫量は32万4,200t、出荷量は27万9,100tで、前年産に比べそれぞれ3,600t（1%）、2,600t（1%）増加した。

図42 すいかの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

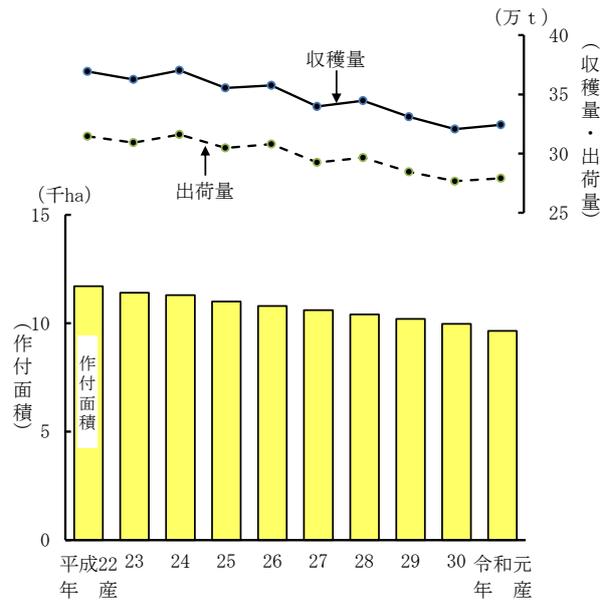


表42 令和元年産すいかの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
すいか	ha 9,640	kg 3,360	t 324,200	t 279,100	% 97	% 104	% 101	% 101	% 103